

砂防ボランティア通信

2000. 1. 11

Vol. 6

発行：大阪府砂防ボランティア協会

■ ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。砂防ボランティアの皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

西暦2000年という記念すべき年に阪神・淡路大震災から丸5年という節目の年を迎えました。この震災を契機に設立した当協会は、震災の記憶を風化させることなく、土砂災害の防止に向けた活動を続けていきますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

昨年11月には「亀の瀬地すべり対策工事見学会」を開催いたしましたところ、多数の方々にご参加をいただき、ありがとうございました。また、本年2月2日（水）には砂防ボランティア講習会の開催を予定しておりますので、是非、ご参加いただけますようお願い申し上げます。

大阪府砂防ボランティア協会 会長 三宅 清

■ 亀の瀬地すべり対策工事見学会を開催

平成11年11月2日（火）に建設省近畿地方建設局大和川工事事務所のご協力を得て、同事務所において実施している「亀の瀬地すべり対策工事」の現場見学会を開催しました。

当日は、AグループとBグループに分かれて、資料室、排水トンネル、お立ち台、深礎工を見学し、合わせて41名の方々にご参加いただきました。

資料室では、亀の瀬地すべり対策工事の概要についての説明とビデオを見せていただきました。排水トンネルでは、施工されたトンネルの中を実際に歩いて、地すべりの発生要因となる地下水を排水している様子を見学、お立ち台では保全対象となる大和川との位置関係や排土工による長大法面を見て、地すべり地の広さを、また、現在工事中の深礎工の中を上から一人ずつ覗き、その深さを実感しました。

参加された方々からは、大規模な地すべり対策工事が大阪府下で行われていることや日頃は見ることのできない工事現場を見学できたことに対して感激の声が聞かれました。



排水トンネル前で説明を受ける参加者

■ 砂防ボランティア講習会を開催

来る平成12年2月2日(水)午前10時より、大阪府庁新別館北館4階多目的ホールにおいて、砂防ボランティア講習会を開催いたします。

当日は、京都大学教授(農学博士)の水山 高久(みずやま たかひさ)氏から「最近の土砂災害とその教訓」と題してご講演いただく予定です。

水山教授は、平成11年9月21日に発生した台湾大地震による土砂災害の現地調査団の一員として、平成11年10月11日から17日にかけて台湾へ派遣され、阪神・淡路大震災により得た経験・教訓を生かしつつ、速やかな復興のため日本と台湾の技術交流を進められています。

砂防ボランティア講習会への皆様方のご参加をお待ちしております。

■ 全国の砂防ボランティア協会等の設立状況

砂防ボランティア全国連絡協議会によれば、平成11年11月29日現在の砂防ボランティア等の設立状況は、61団体3,114名の方々がボランティアとして登録されています。

とりわけ、大阪府砂防ボランティア協会は288名のボランティア登録があり、全国61団体の中で最も登録者数の多いボランティア協会となっています。

いづれの協会等も土砂災害危険箇所点検の実施や講習会の開催等、積極的なボランティア活動が行われています。

毎年1月17日は「防災ボランティアの日」、
毎年1月15日から21日の一週間は「防災とボランティア週間」です。

★砂防ボランティアに関するご意見やご質問は下記までお問い合わせください。

連絡先	大阪府砂防ボランティア協会事務局
	☎540-70 大阪市中央区大手前2丁目
	☎06-6941-0351(代表) 内線2956
	☎06-6944-6039(直通)
	大阪府土木部ダム砂防課内 担当 濱本、渡部